

令和2年度第1回 大阪市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
地域福祉基本計画策定・推進部会（議事要旨）

日時：令和2年8月3日（月）午前10時00分～

場所：大阪市役所地下1階 第8共通会議室

1 開会

- ・委員紹介
- ・出席職員紹介

2 議事

- (1) 次期「大阪市地域福祉基本計画」の策定について
- (2) 大阪市地域福祉基本計画の進捗状況について（令和元年度末時点）

【議事（1）】

- ・事務局から資料に沿って説明

（主な意見）

- ・新型コロナウイルスの感染防止をしながら、いかに「つながり」をつくっていくか。本計画で訴えていくべき。
- ・コロナ禍は災害だが、あらゆることに及んでいて、地域福祉で気を付けることは、単に災害対応だけではない。
- ・「地域福祉を取り巻く現状」にコロナのことの記載がないのは違和感がある。対応状況等について記載するとよい。
- ・住民全体に危機が及んでいるときは、普段、地域福祉活動と距離をとっている人々に対して、働きかけるよい機会になるので、計画に積極的に掲載するとよい。
- ・本計画は各区計画を支援する役割があるため、24区の計画を分析して、共通項や独自性についてまとめる必要がある。
- ・生活困窮者自立支援事業だけが、詳しく記載されておりバランスが悪いように思う。他の制度による支援の際はどうか。
- ・改正社会福祉法（新しい地域包括支援体制）について、「地域づくり」と「相談支援」と「参加支援」の3つを具体化、体系化して記載する必要がある。
- ・さまざまな取組が行われている中で、縦割ではなく「横断的に取り組む」ということが、抽象的で分かりにくい。目標とすべき考え方を共有するためには、イメージ図で示す必要がある。
- ・生活困窮者自立支援事業の支援会議について一箇所しか記載がなく、バランスが悪いように思う。
- ・担い手の確保について、例えば、大阪市では地域福祉活動へ企業の参加が十分ではなく、参画

を促す余地がある。

- ・災害の福祉的対応に関しては、全国的に宿題で自治体に残っている。大阪でも南海トラフもいつ来るかわからない。真剣に考えなくてはならない。
- ・今までやってきたことは間違いではないので、しくみの説明にメリハリをつけたらよいと思う。新たにガラッと書き換えるということではない。

【議事（２）】

- ・資料配布のみ